

会議名	令和元年度第4回坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議
開催日時	令和元年12月26日（木） 午後1時00分～午後2時10分
開催場所	香川県広域水道企業団坂出事務所 3階大会議室
出席委員	長谷川 修一, 國時 忠能, 木原 光治, 新田 一也, 中橋 恵美子, 林 美模, 古田 桂子

会議の経過および発言要旨

1. 開会

2. 市長挨拶

3. 議題

(1) 坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）の素案の修正内容について

●会長

それでは、議題（1）について、事務局より説明願いたい。

●事務局

（坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）により説明）

●会長

ただいまの説明についてご質問等があれば発言をお願いします。

●委員

サヌカイトについて、五色台でも取れていたように思うが、金山とピンポイントに記載している理由は。

●会長

最も身近なところで、金山が代表的な産出地であることによるものと考える。

●委員

人口ビジョンは、出生率の予測と社会増の推計によってどのように変わってくるものなのか。また、崇徳上皇の記載があるが、坂出市には6人の偉人がいるので、1人だけ記載するより、6人の偉人についても触れたほうが良いのではないかと。

企業誘致に関連して、人を寄せ付けるような拠点、例えば坂出出身の松尾教授と三豊市が共同してやっているように、そういった人と連携した施設についても考えてみては。

●事務局

人口の将来推計については、前回会議では、出生率は前回数値目標は示していなかったが、平成27年策定時の出生率の数値目標を準用して人口推計をし直した結果、2060年の坂出市の人口は、当初の目標値42,000人を若干下回る41,810人と示した。今回の数値目標に基づいて、転入者数を今後、毎年100人の社会増として試算すると、42,000人を上回り、42,100人を若干下回る程度の人口推計となり、前回提示したものよりも300人程度の増加となる。

6人の偉人については、何らかの形で意見を反映できるよう修正を加える。

次に、人を呼び込めるような施設について、現時点で提示できる新たな施設の予定はない。ただ、市街地に公共施設が多くある中で、これらの利活用を進める中で、何らかの事業をする際には市民の意見を踏まえながら計画を進めていくものと考えており、具体的な予定は今のところはないが、考え方としては、市民の意見を拝聴しながら利活用に努めるというものである。

●委員

讃岐国府跡のKPIだが、説明会の数字でなければならないのか。検証する通知として、例えば国府跡を訪れた人の数などは。

●事務局

今後、保存活用計画を2年程度かけて作っていく予定である。その中で、全体を見据え

た保存活用や、観光振興、例えばAR（オーギュメントドリアリティ）やVR（バーチャルリアリティ）を使った形も考えながら、常時人が来て、史跡を見られるような形にしていきたいと考えており、それを踏まえ保存活用計画を策定していく。

●委員

せっかくの歴史遺産であるので、もう少し大きい目標を考えてもらいたい。

●事務局

第1期計画と同様、第2期計画も対象期間の途中でも計画の見直しを行っていくものであるので、令和2年3月に国の史跡指定を受ける見通しであり、その後策定予定である活用計画も踏まえ、KPIの見直しも考えていく。

●委員

5Pに家賃補助の記載があるが、市内の事業所の組合員から、坂出市に事業所があつて、市外から坂出市内へ居住場所を変えた場合に、単年度でも家賃補助をもらえる制度はないのかという質問、要望があつたが、どのように考えるか。

●事務局

現在の本市の家賃補助の制度は、新婚世帯を対象としている。単身や、結婚後数年経過後に坂出市に移ってくる人も想定されるが、現時点では、新婚世帯が対象である。今後については、検討を要するものとする。香川県が実施する施策で移住世帯への家賃補助もあるが、これは県外からの移住者を対象としている。

●委員

市外から、宅地を購入して転入した場合、土地の固定資産税の3分の1の軽減を5年間行う、という制度が他市であつたと聞いている。坂出市に同様の制度はないのか。

●事務局

現時点、同様の制度は実施していない。

●会長

このような意見があったということで、今後の参考にしてもらいたい。

●委員

合計特殊出生率の目標について、前向きな、挑戦的な数値であるが、見通し、根拠はあるのか。また、18ページのKPIで、「審議会等における女性委員の割合」について、令和6年度に30%と目標設定しているが、現時点で、本推進会議委員の女性の割合が3割を切っている状況であり、旗振り役の部署が積極的に進めていただきたい。

●事務局

女性委員の割合については、十分に参考にしていきたい。

合計特殊出生率は、香川県が、最新の2018年の数値が1.61だったと記憶している。前回の、坂出市の平成20年から平成24年の合計特殊出生率は1.43であり、暫定値ではあるが、現状値は1.54であり、0.1ポイント伸びている。挑戦ではあるが、さらに0.1ポイント伸ばすことを目標にしたいと考える。

●委員

出生率の関連で、13ページに関して、坂出市の今の妊娠期・出産期の助成や支援はどのようにになっているのか。

●事務局

細かな助成制度の説明は、資料が手元にないが、主なものとして、出産祝金を県下の他市に先駆けて増額して実施しているほか、子どもの医療費について中学校修了まで無料化している。また、保育料の軽減は、令和元年10月からの国全体での無償化が始まったため、市独自の軽減部分が結果的に縮小したようになったが、あくまで国の無償化は3歳以上である。坂出市では0から2歳の子どもについても、2人が同時就園の場合には2人目無償、3人以上子どもがいる場合には3人目を無償とする、そのような制度がある。

●委員

出産までの健診無料券などはどうなっているのか。

●事務局

15枚まで、無料で交付している。

●委員

それは他市の状況との比較では、同じような水準か。

●事務局

他市が率先した場合に追従するという状況は自治体間でよくあるが、坂出市の場合、子育て支援施策について、他市に先駆けて多く取り組んできており、施策としては県内でも充実しているものと認識している。

●委員

充実した妊娠期を送れる坂出市、という情報を広げることができれば、若い世代は身軽に住居を移すことができる世代であるので、人口増につながると考える。

ほかに、子育て中のヘルパー、ファミリーサポートセンターのような取組はあるのか。

●事務局

ファミリーサポートセンターは社会福祉協議会に委託して取り組んでいる。

●委員

6ページの都市の環境整備と地域公共交通の利便性向上について、JR坂出駅の乗降客数は四国で5位くらいだが、循環バスの利用者数を増やすならば、令和2年3月に宇多津に四国水族館ができるので、そこまで循環バスが回っていくようにすれば、マリンライナーが停車する駅があるので、そこからすぐ行けるようにすることで、利用者が増え、地域も活性化するのではないかと思うが、そのような計画はあるのか。

●事務局

現時点で、宇多津町まで延伸させる計画はない。坂出市の循環バスであり、運営費の補助金も相当なものになっている。市民にとっての公共交通の位置づけを考えると、まずは市民の利便性向上を第一の目的に、公共交通の施策を実施しているところである。

●委員

早い時期、例えば高校生や大学生の時に坂出市に住んでいる人が、もし外に転出して、坂出に帰ってきて子育てをするのであれば、坂出ではファミリーサポートセンターがある、公共交通はこういう仕組みになっている、という情報を、早いうちから、実際に子どもを持つ前に、あるいは子どもを持たなくても、社会人になる前から知ってもらえる機会があれば良いし、早めに知っておいてもらうことが大事であると考えている。

●会長

高校を卒業して出るまでに、坂出は子育てするのに良い場所だということを若者にインプットしておけば、都会に出たときに、なんと子育てしにくいところだと、坂出に戻ろうという考えにもなるかもしれない。

●委員

28ページの「おわりに」の最後に、目標も含め不断に見直し行うという記載があり、この部分をぜひ忘れずに進めてもらいたい。

また、これからは生産年齢人口が減り、働く人の年代が、おじいさん、おばあさんと呼ばれる年代に上がっていく。いま、坂出に住んで頑張っている人たちに長く元気にいてもらうことも、自然減を抑えるための大きな力になると思うので、そういった視点も計画の中で持っておいてもらいたい。

中心市街地の再開発について、根本的にやらなければ魅力的な坂出市になっていかないと思う。坂出駅周辺を見たときに、皆さんが良いまちだと思えるような場所にしてほしい。

●会長

最後になるが、坂出で、世界に打っていけるのはサヌカイトだと考えている。地元あまり知られていないのがまだ弱いところであり、この計画には書けないが、また目標を見直す際に、世界の富豪層が来る可能性もある隠れた財産であるので、今後考えていってもらえたらと個人的には思う。

また、事務局の説明にあった、基本目標3に加筆する文言「持続可能な」については、加筆ということによろしいか。

(委員一同承認)

●会長

委員の承認を得たので、加筆するという形でお願いします。

また、本日の意見により一部加筆・修正の必要が出たが、本推進会議として、基本的にこの素案を認めるという形でよろしいか。

(委員一同承認)

●会長

本日の意見を踏まえた修正については、会長に一任いただき、事務局と文言の調整を行ってよろしいか。

(委員一同承認)

(2) 策定に向けた今後の日程について

●会長

続いて、議題(2)策定に向けた今後の日程について、事務局より説明をお願いします。

●事務局

ただいま承認いただいた案について、修正した後、パブリックコメントを実施し、今年度中に第2期の総合戦略として確定してまいりたい。

もう1点、承認いただきたい点があり、素案の中で字句の微修正がある場合に、事務局に一任していただいてよろしいか。

(委員一同承認)

●会長

以上で、坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を終了する。